



うえがはら

少しずつ、一歩ずつ



渡り廊下沿いのあじさいが美しく咲きました。やや見頃は過ぎてしまいましたが、今年のアジサイもとてもきれいに咲きました。また来年、という感じです。

さて、緊急事態宣言が解除になって10日。学校では、今までできなかった音楽のリコーダー・鍵盤ハーモニカや歌、体育の補助や接触の可能性のある試合形式の練習など少しずつ再開できるようになっています（もちろん感染に気をつけてはいます）。

先週の上小集会（みんなが集まれないので、放送で行ないました）では、子供たちに3つのことを話しました。

一つ目は、緊急事態宣言が解除になったけれども、コロナがなくなったわけではないので、これまで通りマスク・手洗い・換気をしっかりとるように話しました。

二つ目は、これから暑くなり熱中症の心配が出てきます。熱中症にならないためには、まず疲労をためないことが大切です。そのためにしっかり睡眠をとり（休養）、ご飯をしっかりと食べる（栄養）ようにすること。外で遊ぶときは帽子をかぶったり、激しい運動をするときはマスクをはずしたりして（ただしマスクを外したときは周りの人と距離をとる）、熱中症にならないように気をつけるよう伝えていきます。

三つ目は、暑かったり、コロナで不自由なことが多かったりとしんどい時だからこそ周りの人に心遣いをしてほしいと伝えました。私はこんなときだからこそ、周りの人に優しくありたいと思っています。

あと20日で夏休みです。今年の夏には東京オリンピック・パラリンピックが行われる予定です。その準備も急ピッチで進んでいますが、選手たちが自分の実力をしっかりと発揮できるような大会になってほしいと願っています。

校長 佐伯 孝司



＜子供たちの成長を願って・・・＞

子供たちは学校や家庭や習い事などでの生活を通して成長していきます。学校では、周りの友達や先生に自分の気持ちや思いを伝えるトレーニングをしていきます。自分の思いや気持ちが伝えられなくて悔しい気持ちになったり、気持ちをうまく伝えられてけんかした友達と仲直りができたり、いろいろな経験をしていきます。そのときに、うまくできたらOKと確認できます。もしも、うまくできなかったときには次にどうしたら良いかを考えます。特にそのときには自分で考えることが大切です。自分で考えて工夫をして、周りの友達や先生とうまく人間関係を作っていく努力をします。それが大事なのです。今すぐにはできなくても、徐々に経験を積んでいけばできるようになってきます。先生（大人）は子供たちを支えながら、「こんな人になってほしい」と子供たちに願いながら指導していています。

各地でワクチンの接種が進んでいます。西宮市でも同様に接種が進んでいます。ワクチンは感染防止に有効な手段ではありますが、絶対的なものではありません。若い人が接種できるようになるにはもう少し待たなくてはならないようですが、今しばらく感染対策を緩めないようにしてください。

ワクチンを受けたいのに基礎疾患があって接種できない人や、副反応への不安が強い人もおられます。ワクチンを打たない選択もあります。ワクチンを打たないことが、差別を引き起こすことのないような社会を願っています。

本を寄付してください

子供たちは図書館の本を毎日読んでいます。毎週3冊ずつ借りているので、少しずつ傷んでいきます。そこで、ご家庭で読まなくなった小学生向けの本がありましたら、寄付をお願いします。図書室前の箱に入れてもらえれば、ありがたいです。よろしくをお願いします。